

# 取扱説明書

## 目 次

---

- 目 次 ..... 1
- 安全に関する注意事項 ..... 2
- 本体とその他の機器の名称 ..... 3～4
- 電源の入れ方 ..... 5～6
- リモコンについて ..... 7
- LED画面への表示方法 ..... 8
- 登録文字内容一覧表 ..... 9
- 測定データについて ..... 10
- 測定データの保存ができない場合 ..... 11
- 日時と目覚しの設定方法 ..... 12
- 平リブとUバンドの設置方法 ..... 13
- 各機器の設置例 ..... 14
- データの書き込み方法 ..... 15
- 測定機器について ..... 16
- 故障かなと思ったら ..... 17～18

---

このたびは弊社製品をご選定いただき誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくためにならず本取扱説明書をお読みの上ご使用していただきますようお願いいたします。またお読みになった後は本書をいつでもお手に取れる場所に保管してください。



## 設置方法について

- ・突風や強風等で本製品と周辺機器が横転しないよう取付金具等により十分に固定してください。事故等の発生原因となる場合があります。
- ・本製品を車輛等へ搭載して使用する際は必ず工具・ロープなどで厳重に固定してください。
- ・各センサーの取付け場所については本書14ページを参照してください。



## 本体等について

- ・本製品(周辺機器と測定機器)の分解・改造は行わないでください。火災・感電の原因となります。また許可なく分解や改造された製品は修理等に応じられない場合があります。
- ・本製品から発煙・異臭等の異常を感じたらご使用を中止し電源コードを抜いてください。発火・感電の原因となります。
- ・濡れた手でコネクタの抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ・本製品に水や水滴等が入ってしまった場合にはただちに使用を中止してください。感電・火災・漏電の原因となります。



## その他

- ・本製品は防滴構造になっておりますが高圧洗浄機等での洗浄はおやめください。本体やパネルの破損につながります。
- ・本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。機器の破損につながります。



## USBメモリについて

- ・必ず1~2週間に一度USBメモリのフォーマットを行ってください。USBメモリはフォーマットせずに使い続けると記録できない領域(=不良セクタ)が発生します。この不良セクタには書き込みができないため不良セクタが多くなると記録時間が短くなり記録できなくなる可能性があります。1~2週間に一度USBメモリをフォーマットすることで正常に動作することができますので必ず行ってください。
- ・フォーマットを行うとUSBメモリ内にあるデータは全て削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにデータをバックアップをしてからフォーマットしてください。
- ・USBメモリは消耗品です。フォーマットしてもエラーが頻繁に表示される場合はUSBメモリの寿命が考えられますので買い換えをお勧めします。
- ・USBメモリは製品付属品の使用をお勧めします。どのUSBメモリにも本機との相性問題があり市販品のUSBメモリでは最悪使用することができない場合があります。付属品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。弊社またはお近くの弊社取扱店にUSBメモリをご注文ください。
- ・セキュリティソフトによるUSBメモリの書き込みエラーが発生する場合がありますのでご注意ください。



## 重要事項

※ 本内容を遵守せずに発生したUSBメモリ内のデータ損失及び破損に関しまして当社は一切の責任を負いません。

## 本 体

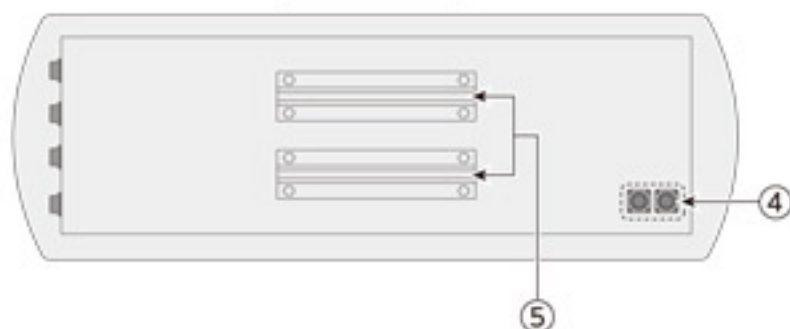
正面



側面



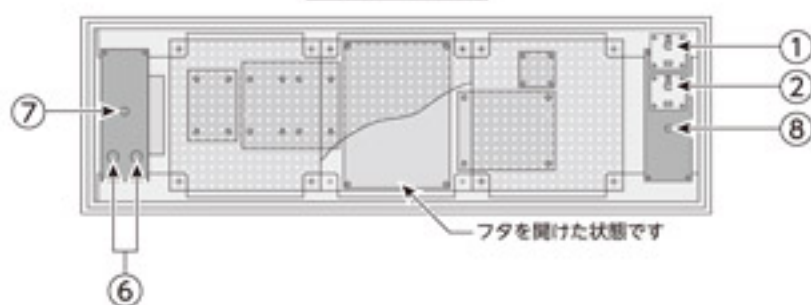
背面



付属品

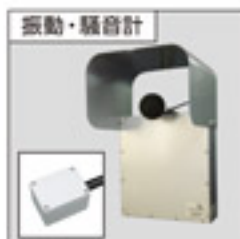


内部



## その他の機器

※各機器はオプション品の場合があります。



## ①リモコン受光口

---

- ◇リモコンからの信号を受信します。
- ◇リモコンの信号転送時に受光口に直射日光が当たっていると信号が転送されにくい場合がありますので影などを作り転送するか直射日光が当たらない場所に移動してから転送してください。

## ②CDS(明るさ感知センサー)

---

- ◇周囲の明るさを感知して自動的にLEDの明るさを調整します。
- ◇このセンサーの周囲は塞がないでください。

## ③外部装置接続口

---

- ◇各種測定機器等と接続するケーブルのコネクタを挿し込みます。
- ◇コネクタの形状やピン数はケーブルにより異なりますのでご注意ください。
- ◇ケーブルを接続しないコネクタには必ずキャップを取り付けたままご使用ください。

## ④AC電源／DC入力ケーブル接続口

---

- ◇ソーラーパネル及びバッテリーからのケーブルのコネクタを挿し込みます。
- ◇コネクタの形状やピン数はケーブルにより異なりますのでご注意ください。

## ⑤ポール(φ48.6)取り付け用平リブ

---

- ◇支柱などに表示器を固定するための平リブです。
- ◇取付方法は別ページを参照してください。

## ⑥12V用／100V用ヒューズ

---

- ◇2A / 3A

## ⑦電源スイッチ

---

- ◇本体の電源スイッチです。

## ⑧センサー切替スイッチ

---

- ◇リオン社製の振動計(VM-55)と騒音計(NL-42)を使用する場合はスイッチをONにしてください。
- ◇通常時はスイッチはOFFのままご使用ください。

## ⑨RW BOX

---

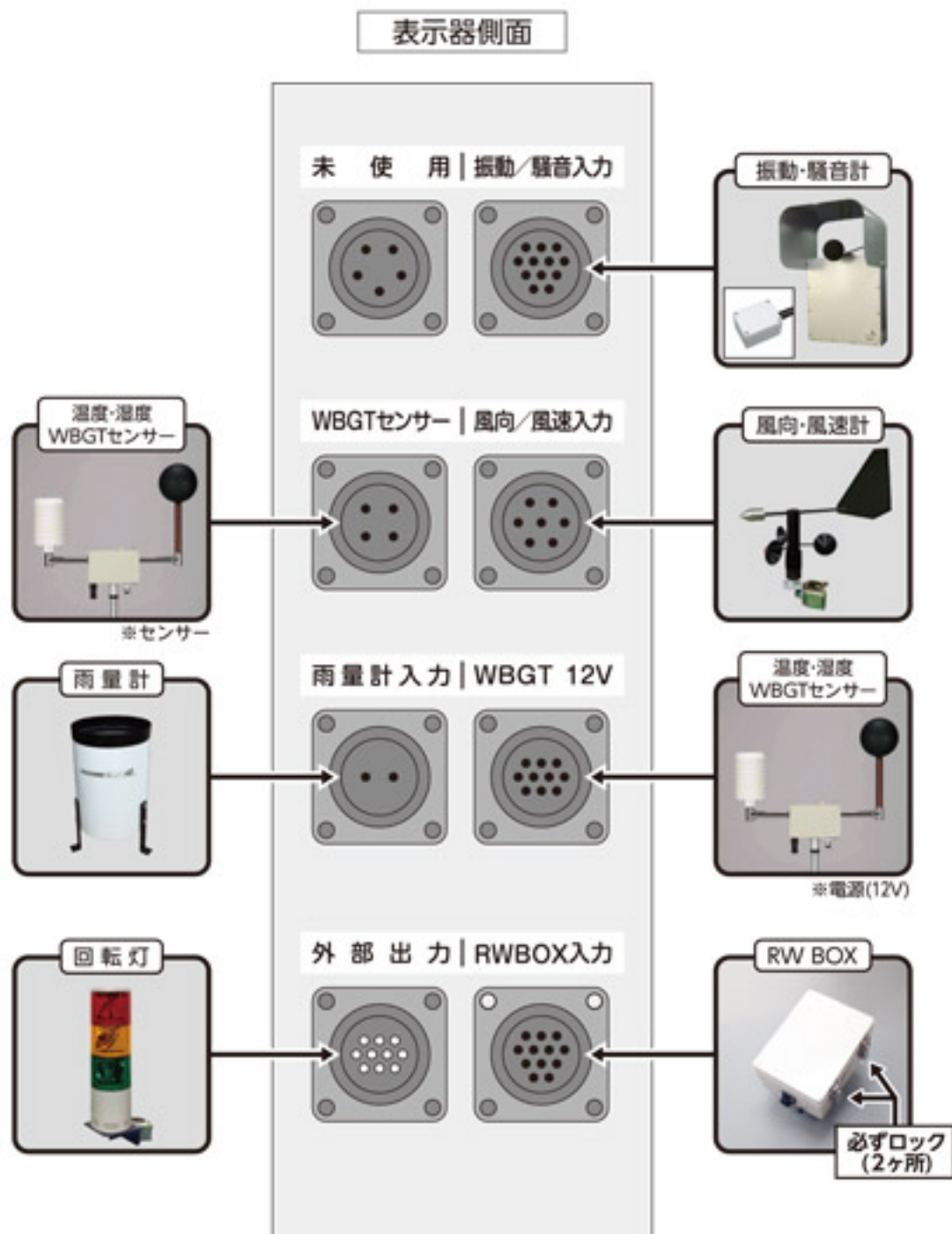
- ◇測定データの保存やデータ書き込み時に使用します。

## ⑩リモコン

---

- ◇本体の表示の設定・変更や目覚しの設定時に使用します。

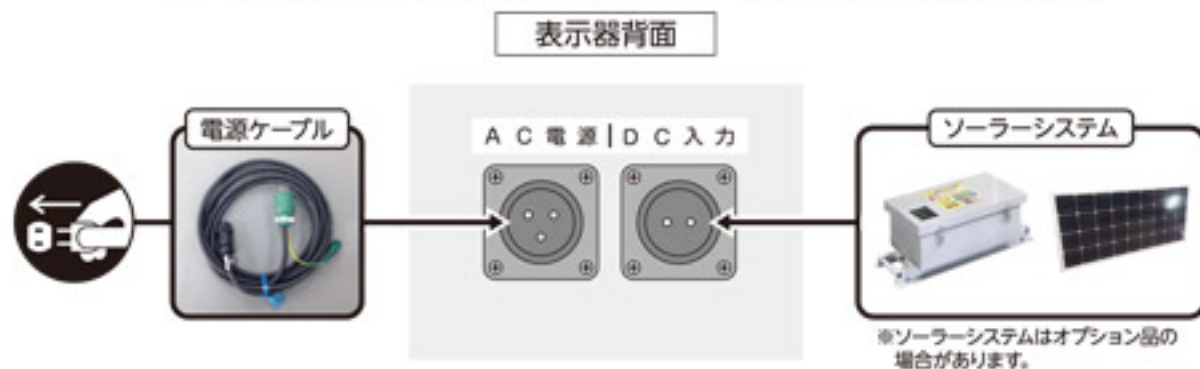
## ①表示器本体と各機器を接続してください



- (1)各機器に付属しているケーブルのコネクタ部分を表示器の側面に押し込み、表示器と各機器を接続してください。また接続作業は必ず電源を切った状態で行ってください。
- (2)ケーブルは必ず専用の付属品をご使用ください。また接続するコネクタの形状と上下を十分に確認してから接続してください。(各機器によりコネクタの形状やピン数が異なります)
- (3)RW BOXは必ず接続してください。RW BOXが接続されていない場合は表示器が正常に動作しませんのでご注意ください。
- (4)各機器詳しい使用方法はそれぞれの取扱説明書を参照してください。

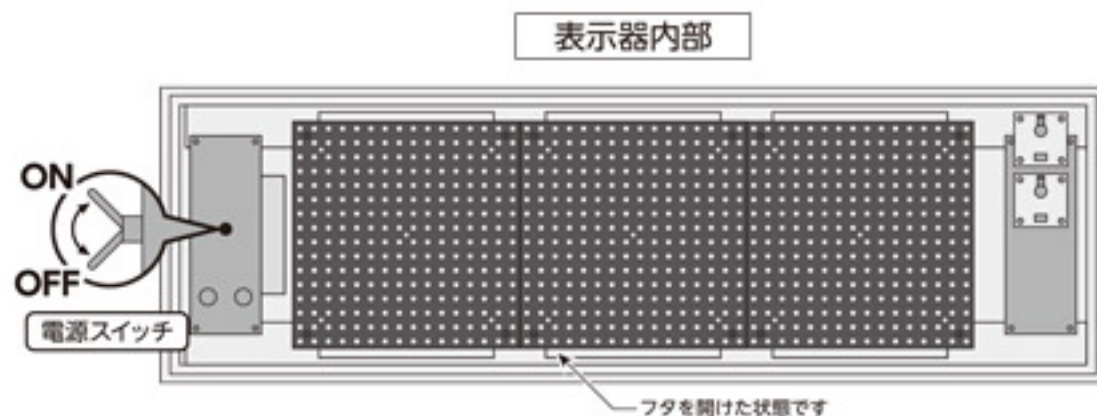
## ② 表示器本体を電源に接続してください

- ⚠ (1) 表示器の背面にDC12Vまたはソーラーシステムのケーブルを差し込んで電源と接続してください。
- (2) ソーラーシステムはご使用前に必ずバッテリーの残量を確認してください。確認後バッテリー残量が不足していた場合は付属のAC100Vケーブルにて強制充電してください。



## ③ 表示器本体の電源をONにしてください

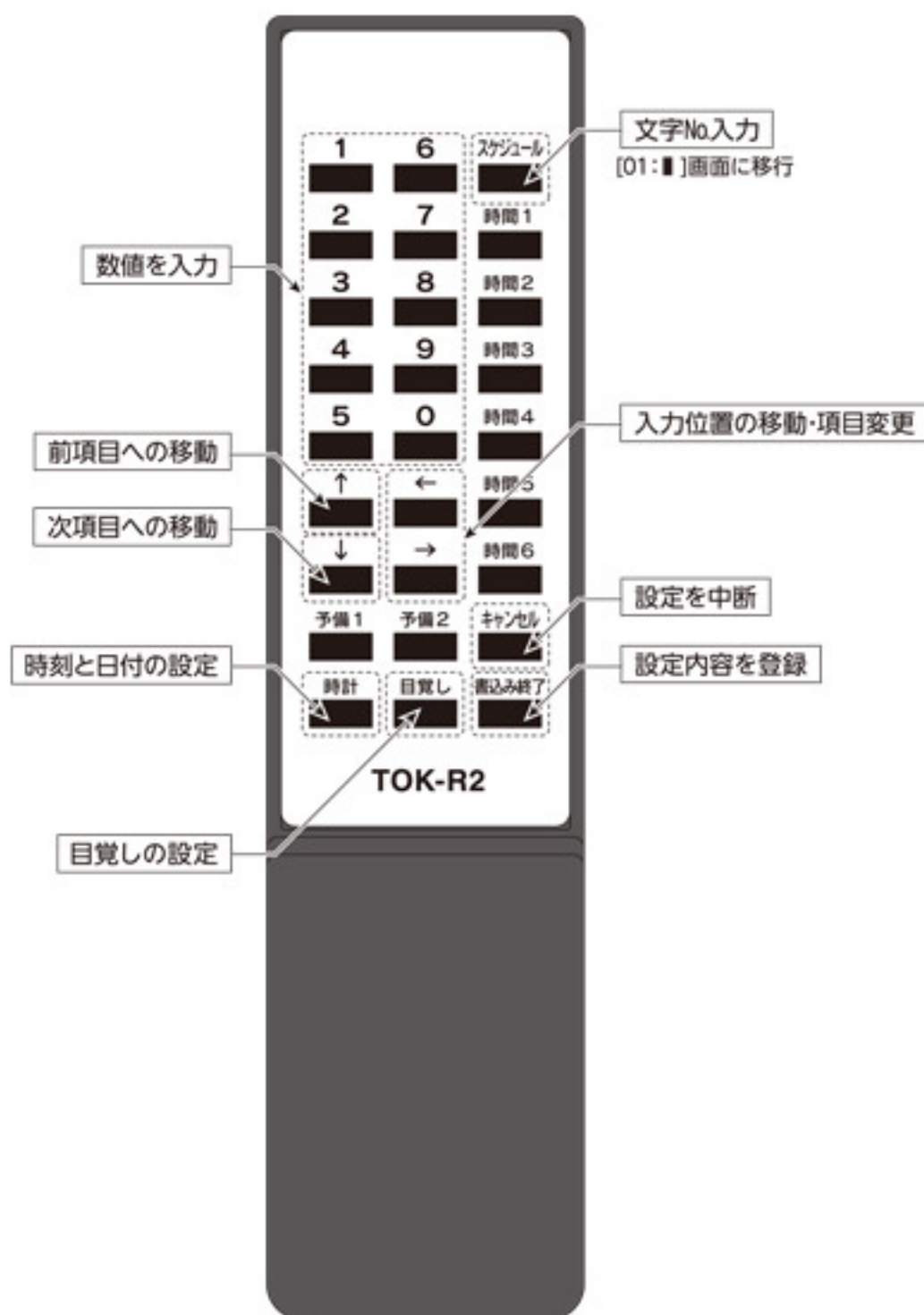
- ⚠ (1) 表示器本体のふたを開け内部の電源スイッチをON(上側)にしてください。
- (2) 表示器本体のふたを開ける場合は内部に雨水などがかからない場所で行ってください。
- (3) 感電や故障などのおそれがあるため電源スイッチ以外の場所には触れないでください。



## ④ LED画面が点灯し表示が開始されます

- ⚠ (1) 最初に英数字(プログラムバージョン)が表示されますが故障ではありません。
- (2) 電源が入りましたら表示に必要な文字をリモコンで登録してください。  
(リモコンでの設定方法は別途入力方法のページでご確認ください)
- (3) 内部に文字が登録されていない場合は画面左下のLEDが1ヶ所点灯します。
- (4) 測定器により数値の表示が開始されるまでに約1分程度かかる場合があります。
- (5) 目覚し設定時間中は電源スイッチをONにしても表示されません。
- (6) 目覚しが設定されている場合は画面右下のLEDが1ヶ所点灯します。
- (7) RW BOX内部の書込みスイッチはOFF(下側)にして必ずふたをロックしてください。また書込みスイッチをON(上側)の状態でも電源を入るとエラー表示となり表示器が正常に動作しませんのでご注意ください。

## リモコンについて



## ご 注 意




- ① リモコンは本体前面のリモコン信号受光口に向けて操作してください。
- ② リモコンやLED画面に直射日光が当たっているとリモコンの赤外線信号が送受信されにくい場合がありますので、手で影を作るか直射日光が当たらない場所に移動してから信号を送受信してください。



## LED画面表示の設定方法 設定例) 気温(No13)と気温測定値(No14)を登録

LED画面に文字を表示させるにはリモコンを使用して文字Noを登録する必要があります

	リモコン	LED画面	操作内容	登録中の文字No
①			[スケジュール]を押す	—
②	—		01の登録設定に移行	No13  気 温
③			01に登録する文字Noの2桁目を入力	
④			入力位置を1桁目に移動	
⑤			文字Noの1桁目を入力	
⑥			02の登録設定に移行	No14  2 5 °C <small>※実際の測定値が表示されます</small>
⑦			02に登録する文字Noの2桁目を入力	
⑧			入力位置を1桁目に移動	
⑨			文字Noの1桁目を入力	
⑩			[書込み終了]を押す	—
⑪	—		登録が終了しました(自動的に表示開始)	—

## ご 注 意



- ① 入力後に[書込み終了]を押さず[↓]を押すと次の文字の登録設定画面に切り替わり続けます。
- ② 登録した文字を変更する場合は、[スケジュール]を押した後に[↓]を押すと登録した文字の画面に変わりますので、その画面上でNoを変更して[書込み終了]を押し再登録してください。
- ③ 登録した文字を取り消したい場合は、Noを[00]に変更して[書込み終了]を押し再登録してください。
- ④ 登録後は必ず動作確認をしてからご使用ください。

## 登録文字内容一覧表

標準表示	No.	表示内容	No.	表示内容	No.	表示内容
	11	時刻	25	平均風速	58	右折
	12	(現在時刻表示)	26	(平均風速測定値)m/s	59	左折
	13	気温	27	風向	60	禁止
	14	(気温測定値)℃	28	(現在の風向)	61	車線
	15	湿度	31	1時間雨量	62	減少
	16	(湿度測定値)%	32	(1時間雨量測定値)mm	63	変更
	17	WBGT	33	10分間雨量	64	→→→→
	18	(WBGT測定値)℃	34	(10分間雨量測定値)mm	65	←←←←
	19	振動	46	(雨量/10分スライド)mm	66	セキュリティシステム動作中
	20	(振動測定値)dB	47	(雨量積算/リセット)mm	67	ソーラー電源使用中
	21	騒音	54	通行止	68	工事中
	22	(騒音測定値)dB	55	片側交互通行	69	作業中
	23	瞬間風速	56	右によって下さい	70	徐行
	24	(瞬間風速測定値)m/s	57	左によって下さい		

連動表示 ※初期設定値超過時のみ表示	No.	連動対象機器	初期設定値	表示内容
	35	気温	1℃~27℃	気温に注意し 作業しましょう
	36		28℃~30℃	気温上昇中! 注意して下さい
	37		31℃以上	熱中症注意!!
	38		0℃以下	凍結注意!!
	39	WBGT	22℃~23℃	WBGTに注意しましょう
	40		24℃~25℃	気温上昇 注意!!
	41		26℃~27℃	熱中症 嚴重注意!
	42		28℃以上	熱中症 嚴重警戒!!
	43	振動・騒音	100db以上	ご迷惑をおかけしております
44	風速(10分間平均)	10m/s以上	強風注意	



- (1)連動の初期設定値を任意の数値に変更することは可能ですが再設定が必要になります。詳細はお問い合わせください。  
 (2)( )内は実際の測定値が表示されず。

## 測定データの保存方法

### ①本体の電源を入れてください

表示器のふたを開けて電源スイッチをON(上側)にして電源が入ったことを確認してください

### ②RW BOXのふたを開けてUSBメモリを差し込んでください

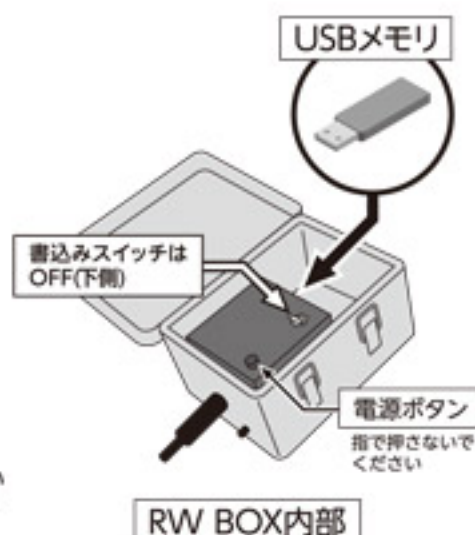
USBメモリをRW BOX内部の挿し込み口にセットしてください

### ③RW BOXのふたを閉めてください

ふたを閉めるとデータの保存が自動的に開始されます



- (1)書き込みスイッチはOFF(下側)のままでご使用ください  
(2)書き込みスイッチをON(上側)の状態では電源を入ると表示器が正しく動作しませんのでご注意ください。



## 保存された測定データについて

- 電源がONになるとUSBメモリ内にデータファイルが自動的に作成され、測定値の保存を開始します。
- 電源がOFFになった場合は(電源スイッチのON→OFF操作や目覚しの設定等)、次に電源が入った時に新たなデータファイルが作成されます。
- 電源がOFFにならず、またUSBメモリの抜き挿しがない場合は1つのデータファイル内に測定値が保管され続けます。
- データファイルはUSBメモリ1GBにつき約1か月間相当の保存が可能ですが、エラーなどで途中から測定値の保存が行なわれなくなる場合があるため、1~2週間間隔でUSBメモリを取り外してデータの確認およびバックアップを行なってください。
- データファイルの保存形式はエクセルなどのソフトを使用して内容を確認することができる.CSV形式(エクセルデータ)です。
- データファイルへの測定値の保存間隔は10分間です。(標準設定時)
- データファイルは電源を切るタイミングで消えてしまう場合があり、そのため予備として2つ作成されます。また予備データは以下の通り本データの末尾を変更して保存されます。

データ末尾関連表

本データ末尾	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
予備データ末尾	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J

### ※保存データ例

日	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1 日時		温度(℃)	湿度(%)	騒音(dB)	騒音MAX(c)	騒音L5(dB)	振動(dB)	振動MAX(c)	振動L10(d)	黒球温度(°)	湿球温度(°)	WDGT温度(°C)
2	2020/11/25 16:00	18.6	43.7	45.5	76.5	57.1	38.8	52.2	44.2	18.6	12.2	14.1
3	2020/11/25 16:10	18.4	44.5	49.1	81.3	62	39	50.1	42.8	18.5	12.2	14
4	2020/11/25 16:20	18.2	42.7	50.4	71.8	63.3	39	72.6	42.9	18.1	11.8	13.7
5	2020/11/25 16:30	17.9	43.4	49.4	73.2	67.6	40.1	84.6	45.9	17.7	11.6	13.4
6	2020/11/25 16:40	17.1	45.1	47	81.4	63	40.7	78.3	47	17.1	11.2	12.9
7	2020/11/25 16:50	16.5	46.4	46.1	69.3	55.6	39.3	50.1	43.3	16.6	10.9	12.6
8	2020/11/25 17:00	16	47.1	48.8	81.2	62.2	38.8	49.4	42.8	16.4	10.5	12.2
9	2020/11/25 17:10	15.7	47.9	48.6	76.8	65.3	39.7	49.4	44.1	16.1	10.4	12
10	2020/11/25 17:20	15.5	48.1	46	85.8	54.3	39.1	51.6	42.6	15.9	10.2	11.8

## ご 注 意




- (1)USBメモリを取り外している間はデータが保存されませんので引き続きデータを保存する場合は新しいUSBメモリを挿し込んでご使用ください。  
(2)日時が正確に設定されていないと保存されたデータファイルの日付が正しく表示されませんのでご注意ください。

## 表示器のエラー表示について

-  測定データの保存中に画面右上のLEDが点灯している場合はUSBメモリへの記録動作に何らかのエラーが起きています



-  ①USBメモリが差し込まれていないと自動的に上段右下のLEDが点灯します。  
②このLEDが点灯していても測定機器と表示器は正常に動作しています。  
③測定データの保存が必要ない場合は点灯したままの状態でご使用ください。

## エラー発生時は以下の項目を確認してください

### (1) 表示器とRW BOXの通信状態の確認

- ①RW BOXと表示器をつなぐケーブルを取り外して再度差し込んでください。
- ②表示器の電源を一旦切って再度電源を入れ直してください。
- ③RW BOX内部の書き込みスイッチがOFFになっているか確認してください。

### (2) RW BOXにUSBメモリが差し込まれていない

- ①RW BOXを開いてデータ保存用のUSBメモリを差し込んでください。
- ②USBメモリは差し込む向きを確認の上しっかりと奥まで差し込んでください。

### (3) 表示器がUSBメモリを認識していない

- ①RW BOXを開いてUSBメモリを取り出して再度差し込んでください。
- ②本体の電源を一旦切り再度電源を入れてください。

### (4) USBメモリのフォーマットエラー

- ①USBメモリを取り外しパソコン等でFAT32形式に再フォーマットしてからご使用ください。
- ②新しいUSBメモリと交換してください。

### (5) USBメモリのエラー

- ①USBメモリの種類によってはご利用になれない場合がありますので予めご了承ください。
- ②USBメモリの容量が足りない場合はデータを保存することはできません。
- ③USBメモリの取扱いに関しては本書2P「USBメモリについて」の項目を参照してください。

※実際の日時と異なる場合のみ設定してください

## 日時の設定方法

設定例) 2021年11月23日16時45分

	リモコン	LED画面	操作内容
①	時計	時計	[時計]を押す
②	2	20年	[年]を設定 西暦の2桁目を入力
③	→	20年	入力位置を移動
④	1	21年	[年]の1桁目を入力
⑤	↓	00月	[月]を設定
⑥	1	10月	[月]の2桁目を入力
⑦	→	10月	入力位置を移動
⑧	1	11月	[月]の1桁目を入力
⑨	↓	00日	[日]を設定
⑩	2	20日	[日]の2桁目を入力
⑪	→	20日	入力位置を移動
⑫	3	23日	[日]の1桁目を入力
⑬	↓	00時	[時]を設定
⑭	1	10時	[時]の2桁目を入力
⑮	→	10時	入力位置を移動
⑯	6	16時	[時]の1桁目を入力
⑰	↓	00分	[分]を設定
⑱	4	40分	[分]の2桁目を入力
⑲	→	40分	入力位置を移動
⑳	5	45分	[分]の1桁目を入力
㉑	書込み	書込み	[日時]を登録
㉒	—	終了	登録が終了しました

## 目覚しの設定方法

設定例) 点灯時刻8:45↔消灯時刻17:45分

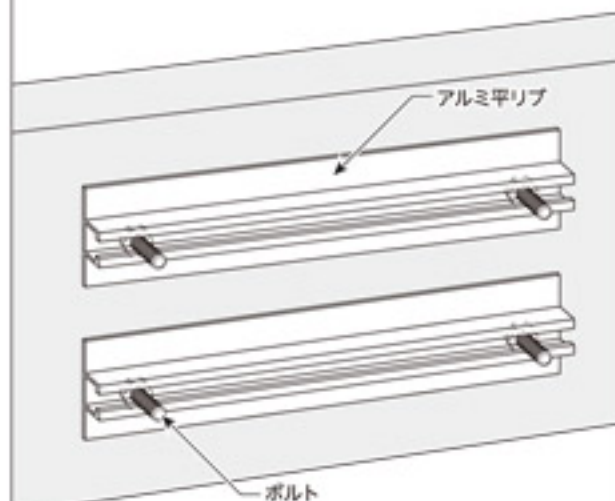
	リモコン	LED画面	操作内容
①	目覚し	目覚し	[目覚し]を押す
②	—	No	目覚しはOFFの状態
③	→	Yes	[Yes]に変更 (目覚しがONの状態)
④	↓	点灯	点灯開始時刻の設定
⑤	→	00時	入力位置を移動
⑥	8	08時	点灯時刻(時)の1桁目を入力
⑦	↓	00分	点灯時刻(分)を設定
⑧	4	40分	点灯時刻(分)の2桁目を入力
⑨	→	40分	入力位置を移動
⑩	5	45分	点灯時刻(分)の1桁目を入力
⑪	↓	消灯	消灯(点灯終了)時刻の設定
⑫	1	10時	消灯時刻(時)の2桁目を入力
⑬	→	10時	入力位置を移動
⑭	7	17時	消灯時刻(時)の1桁目を入力
⑮	↓	00分	消灯時刻(分)を設定
⑯	4	40分	消灯時刻(分)の2桁目を入力
⑰	→	40分	入力位置を移動
⑱	5	45分	消灯時刻(分)の2桁目を入力
⑲	書込み	書込み	目覚しを登録
㉒	—	終了	登録が終了しました

ご注意

- ①目覚しの設定前に日時を設定してください。実際の時刻と異なる場合は目覚し機能が正しく動作しません。
- ②日時が設定されていないと保存される測定データに正しく日付が入力されませんのでご注意ください。

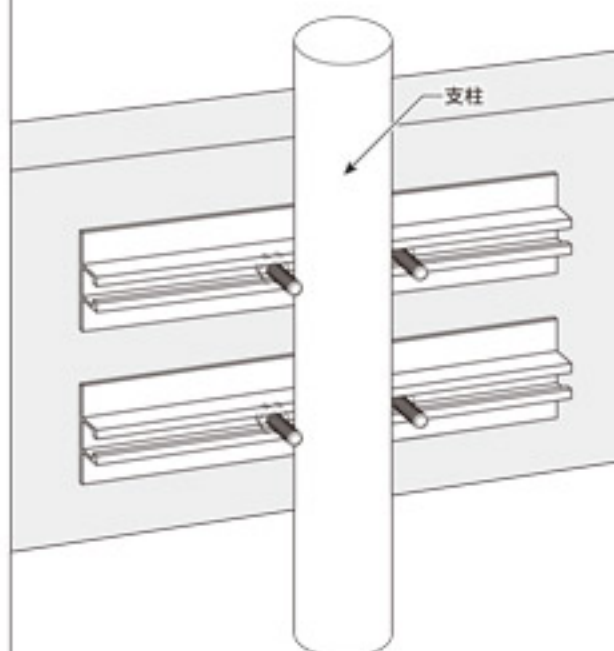
## 平リブとUバンドの設置方法

- 1** 各機器の背面にある平リブに付属のボルトを2個差し込んでください。

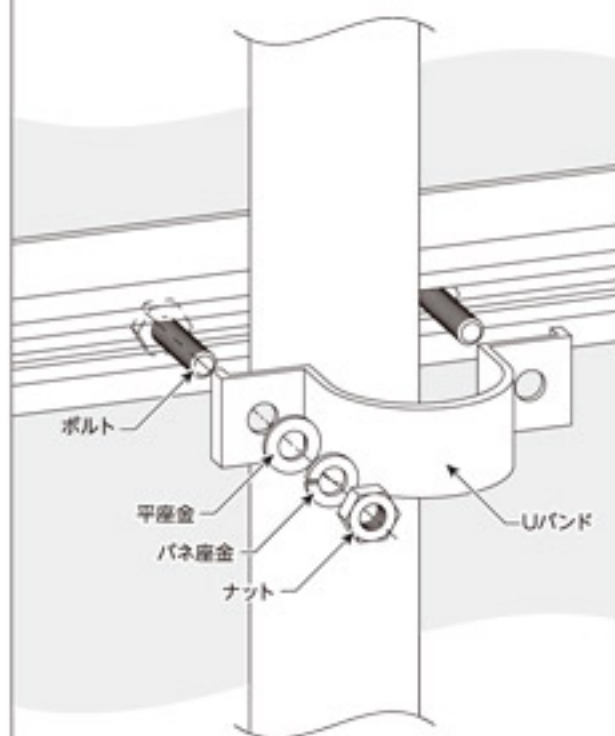


※平リブの枚数や取付け場所は各機器によって異なります。

- 2** 平リブの中心に支柱(φ48.6)を合わせ下図のようにセットしてください。

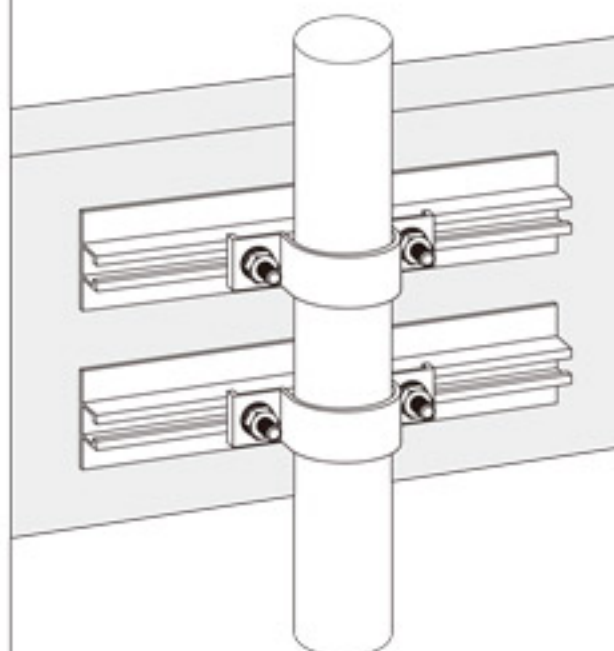


- 3** ボルトにワッシャー及びナットを通してUバンドを取り付けてください。



※付属のUバンドはφ48.6の支柱専用です。

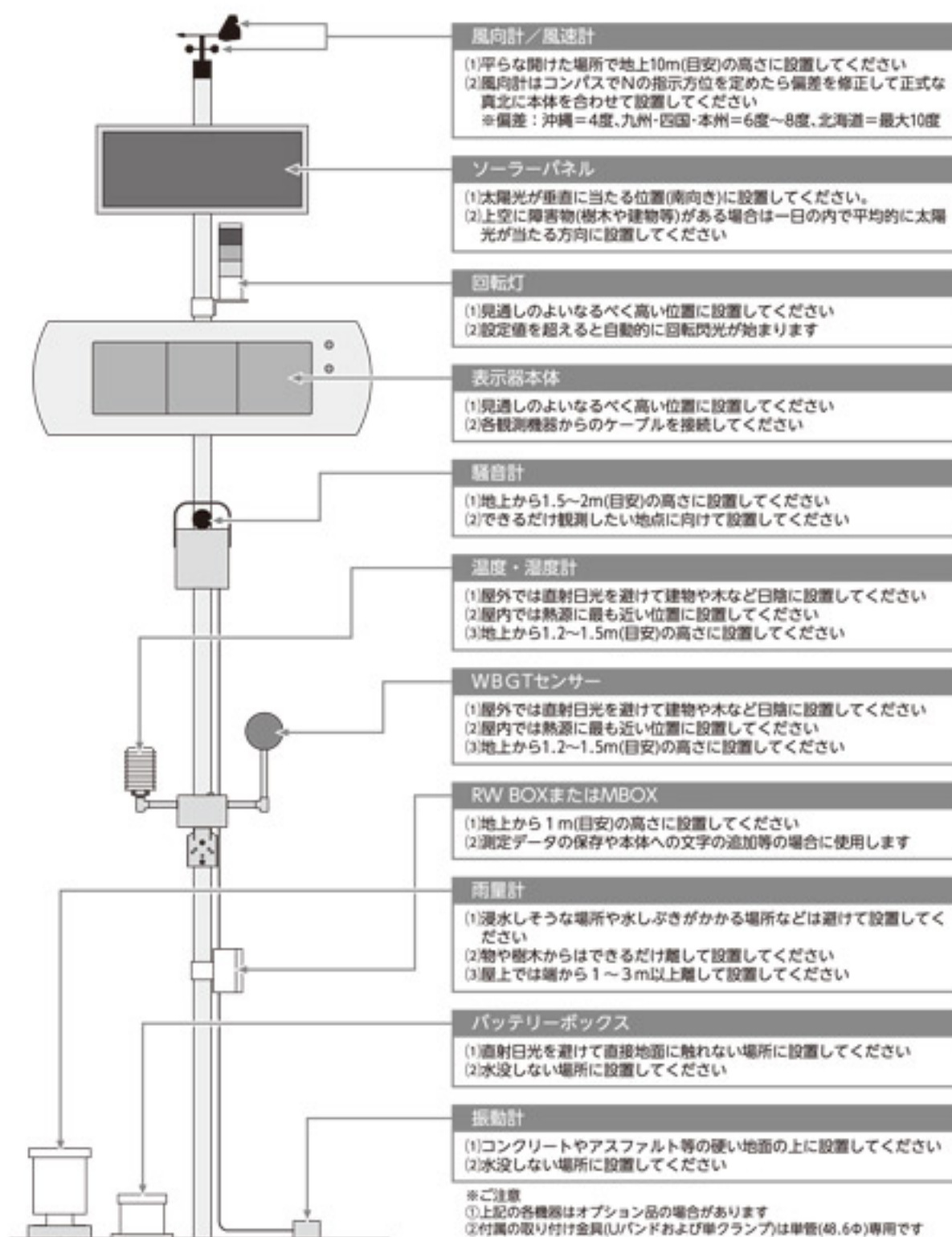
- 4** 全てのナットを工具などでしっかりと固定してください。

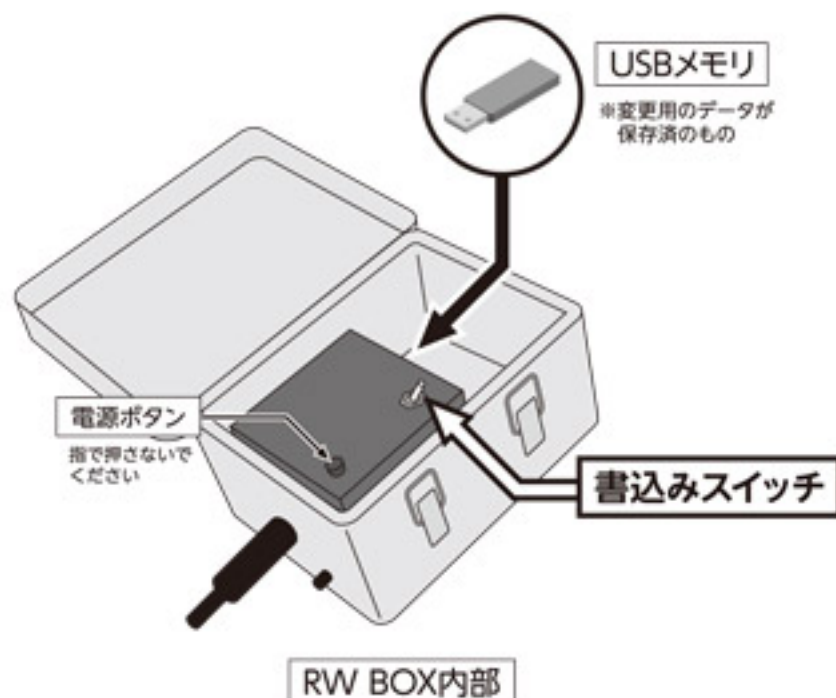


## 観測機器と表示器の設置について

正確な気象観測データを表示するため以下の点に注意して各機器を設置してください

- (1) 風通しや日当たりの良い場所を選んでください。
- (2) 周囲の地形、建物、樹木等の影響をできるだけ避けるようにしてください。
- (3) それぞれの設置条件に応じ水没・破損・事故等による損傷や被害の発生および拡大の防止のために必要な措置を講じてください。





## 1 本体の電源を入れRW BOXのふたを開けてください

- (1)表示器の電源スイッチをON(上側)にして電源が入ったことを確認してください
- (2)本体の電源が入っている状態でRW BOXのふたを開けてください
- (3)RW BOXのふたの開閉と本体の電源のON⇔OFFは連動しています(開=OFF/閉=ON)

## 2 USBメモリを挿し込み書込みスイッチをON(上側)にしてください

- (1)USBメモリは向きを確認してから挿し込み口に静かに差し込んでください
- (2)RW BOX内部の書込みスイッチをON(上側)にしてください
- (3)書込むためのデータはこのUSBメモリ内に保存してください

## 3 RW BOXのふたを閉めてください

- (1)RW BOXのフタを閉めるとデータの書込みが自動的に開始されLED画面に「書込み」と表示されます
- (2)LED画面に「エラー」表示が出たら①から再操作してください

## 4 書込み終了後はUSBメモリを取り外し書込みスイッチをOFF(下側)に戻しRW BOXのふたを閉じてください

- (1)LED画面に「終了」表示が出たらデータの書込みは正常に終了しています
- (2)RW BOXのふたを開けUSBメモリを取り外し書込みスイッチをOFF(下側)に戻してください
- (3)RW BOXのふたを閉めると通常の動作画面に戻ります

## ご 注 意



- (1)書込み終了後に必要な場合はリモコンにて書込んだ文字Noを設定してください
- (2)書込み終了後に測定データの保存を開始する場合は別のUSBメモリを差し込んでください
- (3)書込み終了後はRW BOXのふたを必ず閉じてください
- (4)書込みに必要なデータ(回転灯設定・新規文字等)は付属の専用ソフト「Led Builder」にて作成してください。ソフトの詳細は別途取扱説明書を参照してください



## 測定機器を追加する場合

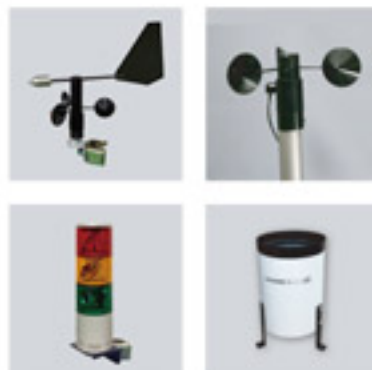
(1)弊社指定製品から測定機器を追加する場合は以下内容が必要です

- 標準品……………測定機器および専用ケーブル  
\*費用及び納期は機器の仕様により異なりますので詳細はご相談ください

(2)弊社指定製品ではない測定機器を追加する場合は以下内容が必要です

- 標準品……………測定機器および専用ケーブル  
\*費用及び納期は機器の仕様により異なりますので詳細はご相談ください
- オプション… 専用プログラムの新規開発費用  
\*費用及び納期は機器の仕様により異なりますので詳細はご相談ください

弊社指定製品(一例)



## リオン(株)様製測定機器のご使用について

(1)リオン(株)様製品(右記)を使用する場合は以下内容が必要です

- 標準品……………測定機器および専用ケーブル  
\*費用及び納期は機器の仕様により異なりますので詳細はご相談ください

(2)リオン(株)様製品(右記)以外を使用する場合は以下内容が必要です

- 標準品……………測定機器および専用ケーブル  
\*費用及び納期は機器の仕様により異なりますので詳細はご相談ください
- オプション… 専用プログラムの新規開発費用および出張設定費用または表示器の往復送料  
\*費用及び納期は機器の仕様により異なりますので詳細はご相談ください

対応可能製品

振動計



VM-55

騒音計



NL-42

## 回転灯について

- (1) 本製品は回転灯の接続に対応しています。
- (2) 接続した回転灯は規定値に達すると自動的に回転閃光を開始します。
- (3) 回転灯の回転閃光設定は温度・WBGT・騒音・振動・雨量・風速の中から選択できます。
- (4) 本製品に対応可能な回転灯の種類につきましては別途お問い合わせください。
- (5) 回転灯の設定には別途専用ソフトが必要です。

弊社指定回転灯



お問い合わせや修理をご依頼される前に下記についてご確認ください

## 本体の電源が入らない

- ① RW BOXと表示器が接続されていますか
  - ▶専用ケーブルにて表示器と接続してください
- ② RW BOXのふたはきちんと閉まっていますか
  - ▶RW BOXのふたを閉じ開閉用の金具をかけて再度電源を入れ直してください
- ③電源ケーブルは正しく差し込まれていますか
  - ▶コネクターの向きを再度確認して接続し直してください

## 画面にエラー表示

- ④ RW BOX内の書き込みスイッチがON(上側)になっていませんか
  - ▶ONの場合はOFF(下側)にして再度電源を入れ直してください

## 測定数値が表示されない

- ⑤各測定機器からのケーブルは正しく差し込まれていますか
  - ▶コネクターの向きを再度確認して接続し直してください
- ⑥各機器の電源ケーブルは正しく差し込まれていますか
  - ▶必要な電源ケーブルが接続されているか確認して接続し直してください
- ⑦数値を表示させるための文字が登録されていますか
  - ▶表示に必要な文字をリモコンから登録してください(別ページ参照)
  - ▶文字がひとつも登録されていない場合は **左下のLEDが1ヶ所点灯します**

## 点灯と消灯をくり返す

- ⑧バッテリーの残量が十分にありますか
  - ▶ソーラーシステム(別売)にてご使用の場合はバッテリー残量を確認してください
  - ▶残量が不足している場合はAC100V電源にて充電してください

## リモコンのボタンを押しても反応がない

- ⑨リモコンに直射日光に当たり信号が遮られていませんか
  - ▶手で影を作るか日の当たらない場所に移動してから操作してください
- ⑩リモコンに残量が十分にある電池が入っていますか
  - ▶電池残量を確認して残量が少ない場合は電池を交換してください

**騒音と振動の  
数値が出ない  
(\*\*dBのまま)**

**⑪センサー切替スイッチがON(上側)になっていませんか**

- ▶ 本体内部の右側にあるスイッチがON(上側)になっていないか確認してください
- ▶ ON(上側)だった場合はOFF(下側)にして再度電源を入れ直してください

**USBメモリに  
データが保存  
されない**

**⑫長期間USBメモリをつけたままにしていますか**

- ▶ 定期的(1~2週間に一度)にUSBメモリのデータをバックアップをしてください
- ▶ USBメモリの容量が足りない場合はデータを保存することはできません

**⑬USBメモリが認識されていますか**

- ▶ RW BOXを開いてUSBメモリを取り出して再度差し込んでください

**⑭USBメモリが正しくフォーマットされていますか**

- ▶ USBメモリはフォーマットの形式によっては書き込めない場合がありますのでパソコン等でFAT32形式に再フォーマットしてからご使用ください

**⑮USBメモリは製品付属品を使用していますか**

- ▶ USBメモリはできるだけ製品付属品をご使用ください
- ▶ USBメモリが付属していない場合は販売店にお問い合わせください

※以上の点を確認した上で症状に改善が見られない場合は表示器の電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

**主な仕様**

- 品名・型式 : 環境表示器 / TK0055型
- 寸法 : 幅800mm×高さ250mm×厚さ103mm(本体部分のみ)
- 電源 : AC100V / DC12V
- LED画面 : 幅600mm×高さ200mm / 色: オレンジ
- 消費電力量 : 約6W
- 表示操作方法 : 赤外線リモコン方式
- 重量 : 本体: 7kg  
RW BOX: 1.2kg  
振動騒音計: 7kg  
風向風速計: 2kg  
回転灯: 2.5kg

**測定機器仕様**

騒音・振動計	電源	: DC6V
	振動センサー	: 防滴構造
	消費電力量	: 約1.2W
	騒音風防スクリーン	: 標準 (簡易型)

気温・湿度・WBGTセンサー: 別紙取扱説明書参照

**ご使用上の注意**

- 本書はお手元に大切に保管してください。
- 本書の内容については予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の外観及び仕様は製品向上のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の保証期間は納入より一年間です。
- ※この間に発生した故障で明らかに弊社の責任と判断された場合には無償修理の対象となります。ただし保証期間内でも取扱ミスや天災などによる故障の場合は有償修理となります。



**株式会社 ティオック**

□本社 / 〒381-2241 長野県長野市青木島町青木島乙850-1  
 電: 026-283-5970 / 傳: 026-283-5920  
 □福岡営業所 / 〒810-0011 福岡県福岡市中央区高砂1-14-11  
 電: 092-406-7601 / 傳: 092-406-7607

# 保 証 書

本製品の保証期間は、お買い上げ日から1年間となります

## 〈無償修理規定〉

1. 取扱説明書・本体添付ラベル等の注意事項に従った正常な使用状態で保証期間内に発生した故障において、原因が明らかに弊社の責任と判断された場合は無償修理いたします。
2. 保証期間内でも下記の内容に該当する場合は有償修理となります。
  - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造、適切な維持管理を行わなかったことによる故障及び損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の転倒・取付け場所の移動・輸送・落下等による故障・損傷。
  - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、塩害、落雷、その他の天災地変、テロ、暴動、公害や異常電圧、その他の外部要因による故障及び損傷。
  - (ニ) 犯罪などの不法な行為に起因する故障及び損傷。

---

製造元 株式会社 ティオック  
本社/長野県長野市青木島町青木島乙 850-1  
TEL 026-283-5970